



「聖なる者となりなさい。  
私が聖なる者だからである。」  
I ペトロ 1:16

URL <http://www.jhc.or.jp>

1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail [jhc-honbu@jhc.or.jp](mailto:jhc-honbu@jhc.or.jp)



2020年6月12日

全国の牧師先生方、役員の皆様へ

日本ホーリネス教団  
委員長 島津 吉成  
総務局長 佐藤 信人  
財務局長 間室 照雄

## 【第10報】新型コロナウイルス感染症に伴う 教団からの「宣教支援金」についてのお知らせ

主の聖なる御名をたたえます。

6月に入り、教会堂に集う形での礼拝を再開した教会も多くあることと思います。そのような中、4月からの約2ヶ月間、教会の諸活動が休止となったため、ほとんどの教会では献金収入が減少し、中には会計状態がかなり厳しくなっている教会も出ています。

これを受けて、教団委員会では、全ての教会に対して今年度の年間本部費（査定額）の10分の1を「宣教支援金」という名目で送金することとしました。これは給付型であり、返済の必要はありません。「宣教支援金」と銘打っていますが、その用途についての指定もありません。新型コロナウイルスの感染拡大によって打撃を受けた教会の働きを少しでもサポートするための支援金ですので、それぞれの教会で自由にお使いください。また、教会によって、献金収入の減少額にかなりの幅がありますが、今回は一律10分の1とさせていただきます。

任命上「派遣」となっている教会の中で、本部費に代わって献金という形でご協力いただいている教会があります。それらの教会につきましては、2019年度の献金額の10分の1を同じく「宣教支援金」として送金させていただきます。

教団の2020年度の本部費総額は7,600万円ですから、その10分の1は760万円になります。その財源ですが、2019年度の決算において、今年3月の第72年会は聖別派遣式のみ実施してライブ配信としたこと、第57回教団総会もインターネットを利用し規模を縮小して行われたため、「総会年会費」の予算が約665万円残となりました。これに繰越金の中から100万円ほどをプラスして、本部費の10分の1にあたる760万円を確保しました。

つきましては、教団事務所より各教会に送金させていただきますので、別紙『「宣教支援金」受取口座連絡票』にて送金先の口座をお知らせくださいますようお願いいたします。できるだけ「ゆうちょ銀行」をご指定くださるようお願いいたします。すでに「教会援助金」等の送金で教団事務所に教会の口座をお知らせくださっている教会もあることと思いますが、会計処理



「聖なる者となりなさい。  
私が聖なる者だからである。」  
I ペトロ 1:16

URL <http://www.jhc.or.jp>



1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN  
〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail [jhc-honbu@jhc.or.jp](mailto:jhc-honbu@jhc.or.jp)

の手間をできるだけ小さくするために、改めて口座をお知らせくださいますよう、ご協力をお願いいたします。なお、送金額につきましては、教団事務所で一括して計算しますので、記入は不要です。

この「宣教支援金」の会計処理についてですが、教団に提出していただく会計報告書には、諸収入の欄に「教団宣教支援金」と記載し、その金額を記入するようにしてください。

添付しました『宣教支援金』受取口座連絡票』に送金先をご記入の上、事務処理の簡素化にご協力いただくために、できるだけ

電子メールにて、[jhc-honbu@jhc.or.jp](mailto:jhc-honbu@jhc.or.jp) までお願いします。

電子メールでの提出ができない場合は、

FAXにて、042(392)2877 までお願いします。

なお、各教会への送金時期につきましては、財務局で送金準備をした後、

**7月1日以降**、順次送金をいたしますので、

入金までしばらくお待ちくださるようお願いいたします。なお、メールを送信してくださった後、1ヶ月を過ぎても入金がない場合は、何かの手違いも考えられますので、教団事務所までお問い合わせください。

感染拡大が収束に向かいつつありますが、新型コロナウイルスとの戦いはこれからも続きます。医療従事者をはじめとして、このために懸命に働き続けておられる多くの方々の働きが守り支えられますように。

皆さまの教会の上に、主の守りと祝福が豊かにありますようお祈りいたします。

「主がエリヤを通して告げられた言葉どおり、かめの小麦粉は尽きず、  
瓶の油がなくなることなかった。」(列王記上 17章 16節)

主にありて